

ティーチング・ポートフォリオ

1. 教育の責任

2023年度の担当科目

科目区分 (教養/専門/教職)	科目名	種別 (必修/選択)	開講時期	受講者数
専門	特別支援保育 1	必修	前期	32
専門	特別支援保育 1	必修	前期	39
専門	特別支援保育 2	必修	後期	39
専門	幼児教育教師論	必修	後期	32
専門	子どもの家庭支援論	必修	後期	39
専門	保育実習指導 1	必修	前期	32
専門	保育実習指導 2	必修	後期	32
専門	保育実習指導 3	必修	前期	39
専門	保育基礎 1	必修	前期	32
専門	保育基礎 2	必修	後期	32
専門	ゼミナール 1	必修	前期	6
専門	ゼミナール 2	必修	後期	6
教養	社会人入門 3	必修	前期	19
教養	社会人入門 4	必修	後期	19

2. 教育の理念

「インクルーシブ保育の理念である特別な配慮を要する子どもを含めた全ての子どもが違いを排除することなく認め合い共に育つ環境を提供でき、偏見や差別を生まない社会を目指す保育者の養成」と「幅広い専門性を身につけ学ぶことで、保育に関する知識・技術はもちろんのこと、多様な子どもや家族の良き支援者としての豊かな人間性を兼ね備えた保育者の育成」を目指すことを、教育の理念としている。

3. 教育の方法

学生の出席状況・意欲・態度・授業の理解度などを意識した上で、毎回振り返り評価し改善に努めている。特に、レディネスの整っていない1年前期・後期の授業では、保育現場や子どもをイメージ化してわかりやすく理解できるよう配慮し補助教材やパソコン・プロジェクター等の視聴覚機器を使用し、常に保育に関する新しい情報をipad等に準備して提供してきた。

また、学生の授業への関心度がより深くなるように、シラバスに沿った内容を深め、授業途中に質問の時間を設けるなど理解度や進捗を確認しながら授業展開するよう心掛けた。さらに、実習や就職後を見据えた授業展開となるよう事例など取り入れ考察できるように工夫した。

4. 教育の成果

特別支援保育 1, 2 については、障害に関する医学・専門用語に関しては難しかったと感じている学生も少なからずいたが、おおむね丁寧で分かりやすかったという評価が多かった。

幼児教育教師論では、特に実習を前にした緊張感や意欲も伝わり学ぶ姿勢も強くなっていたことが評価アンケートにより確認できた。実習を意識した実践的な内容の紹介などを取り入れ、子どもの具体的事例をもとに考察する機会を通して、自己の保育者としての倫理観についての確認や教育者になるという使命と責任を再認識することができたという内容を、毎回行っていたリアクションペーパーから把握することができた。

5. 今後の目標

学生に対する教育の直接的活動としての授業の中で、学生の学修意欲を喚起することができるような授業内容を展開し、科目内容の目標到達へのアクティブラーニングの推進をしていくためにも、講義科目の中でグループワークなど取り入れ学生を眠らせない授業を工夫し、より改善して自己の教授能力を向上させることを心がけたい。特に、保育者・教育者養成科目の担当としては、教育の理念でもある豊かな人間性と実践力を兼ね備えた資質の高い保育者・教育者を目指して、授業の中でもきめ細やかな教育と学生指導を行なっていきたいと考える。また、様々なタイプの学生への理解と支援を心がけて教育指導に努めたいと思う。保育者を目指す学生を、社会人として育成するための厳しさと、資格取得や就職に向けて学び続けていくことに、挫折せず乗り越えていけるような心温かい支援者としての役割も果たしていきたいと考える。そして、学生の目指す望ましい保育者像・教育者像に向かって、その手助けができるように、教育の充実を目指して、学生の保育基礎知識の獲得と定着に繋がるような授業内容の実践をしていきたい。

また、ICT 活用により学生評価をもとにした自己省察等行いながら、学生へフィードバックしたり、moodle を用いた FWJConLine 上で課題を提出させ、その課題に対するフィードバックを行うなど有効活用していきたい。

6. 根拠資料

- シラバス
- 授業資料
- 授業評価アンケート結果
- 授業改善計画書